



2023

# 学校だより 本荘 Smile

令和5年度 第54号  
令和6年3月7日  
熊本市立本荘小学校  
校長 西川 英臣

3月2日は、地域イベントで盛り上がった本荘小学校でした②。大人も盛り上がった「昔遊び大会」でした。



お見事!!あざやかな紐さきで独樂を自由に操っておられます

3月2日(土)は、「町の安全見直し隊」という防犯イベントが行われました。その第2弾です。写真をご覧ください。芸術的なシーンが撮れました。防犯イベントの後は、「みんなの食堂」でおいしいカレーをいただいた後に、「昔遊び大会」が開かれました。そのゲストとして、「肥後ちゃんかけごま保存会」顧問の朝永さんが招かれました。御覧の通り、みごとな技の数々を見せてくださいました。校長をはじめ参加者の大人まで巻き込んでチャレンジしたのですがなかなか難しく、改めて、伝統の技の大切さを学ぶことができました。

その他にも、こまを回したり、羽子板、竹とんぼ、けん玉などを準備して、みんなで遊んだりしたのですが、やはり、バーチャルではなく、リアルな体験にもとづく、遊びというものはよいものです。渡邊PTA会長さんは、けん玉の名手で大変お上手でした。子どもたちに人気だったのは竹馬です。子どもたちはあっという間に、上手になっていきます。2年生の子どもたちは、最初は全然歩けなかったのですが、今では教えた校長先生よりも上手になりました。子どもだけでなく大人も大変リアルな体験ができたイベントとなりました。子どもたちも昔遊びに興じていたのですが、実はその中で、マイラジコンを持ってきて遊んでいる子どももいました。(裏面へ続きます)

でも、ラジコンも私たちの子どもの頃にメジャーになった遊び道具です。50年ぐらいの歴史を持つことになり  
ます。初期の頃のラジコンなんか「昔の遊び」の仲間入りをしていくのかもしれないね。

先日の学校朝会でも子どもたちに伝えておりますが「リアルな体験」というものは大事です。難しいゲームをク  
リアした時にも達成感は感じられるでしょう。しかしながら、鉄棒で、逆上がりができるようになった時のことやなわ  
とびであやとび、二重とびができるようになった時のことを思い返してください。なんとも言えない達成感があつた  
はずです。自転車が乗れるようになったり、野球でキャッチボールができるようになったりしたときのうれしさは、  
格別だったはず。昔遊び大会にて童心にかえって、こまを回しながら、そんなこと思った校長先生でした。

先日、3人の1年生が、朝から泥団子を見せてくれました。まだまだ、よい形に丸めることはできなかったよう  
ですが、達成感があつたようです。「乾かしながら、しっかりと磨くとツルツルになるよ。とってもきれいになるから  
ね。」と伝えました。その昔、1年生の頃に泥団子づくりに熱中したことを思い出しました。そうやって、運動面  
だけでなく、芸術面、創作面も身に付けていくのです。体験活動っていいものです。

今、昼休みに2階のプレイルームに行くと、ベテランの牧坂先生（理科専科）と天野先生（フレンドリーオンライ  
ン）のお二人が、子どもたちと卓球をしておられます。子どもたちもいっぱい集まってきて、順番待ちの状態  
です。大変楽しく盛り上がっています。「昔遊び」「泥団子」「卓球」と例を挙げましたが、みんなで何かをすること  
って楽しいですね。そこには必ず「リアル」なものがあるのです。大切にしたいですね。（校長）

### 校長先生の虫眼鏡 「昔遊びの様子です ちゃんかけごまの華麗な技も」

昔遊びの様子です。校長をはじめとする昭和チーム、お父さん方チーム、令和の子どもチームと3チーム入り混  
じて楽しく遊びました。やっぱり遊ぶって、素晴らしいことですね。



おまけ1 校長先生もチャレンジ



おまけ2 この日参加してくれた6年生でした